

## 第 63 回 消費者安全調査委員会 議事要旨

■日 時：平成 29 年 11 月 20 日（月）14:00～15:30

■場 所：中央合同庁舎第 4 号館 4 階 共用第 2 特別会議室  
（東京都千代田区霞が関 3 - 1 - 1）

■出席者（敬称略、50 音順）

<消費者安全調査委員会>

委員長：宇賀克也

委員長代理：持丸正明

委員：朝見行弘、河村真紀子、澁谷いづみ、水流聡子、淵上正朗

<消費者庁>

川口次長、福岡審議官、野田消費者安全課長、尾崎事故調査室長、事故調査室員

■議事次第：

1. 開会
2. 個別事案について
  - (1) 選定事案
  - (2) 申出事案
  - (3) その他
3. 閉会

■議事概要：

1. 開会
2. 個別事案について
  - (1) 選定事案  
《進捗状況の報告》
    - 調査を実施している事案等について、事務局から今後のスケジュールと現在の進捗状況の報告を受けた。
    - 家庭用コージェネレーションシステム事案について、主に、再発防止策と関係行政機関に対する意見について審議した。
    - 住宅用太陽光発電システムから発生した火災等事故事案について、事務局から報告があり、これを基に審議を行った。

#### 《報告書の審議・決定》

- 玩具による乳幼児の気道閉塞事故事案について、調査報告書（案）を審議し、調査報告書として決定した。

本調査では、保護者、玩具関連事業者及び教育・保育施設等へのアンケート調査並びに聴取り調査等を実施し、それらの分析を行った。また、玩具による気道閉塞に至るメカニズムを明らかにするため、コンピューターシミュレーションも行った。

これらを踏まえ、再発防止策を示すこととした。本調査報告書のポイントは、次の3点である。

一つ目は、アンケート調査によって、どの程度の月年齢、どのような玩具で誤嚥事故が発生しているかについて明らかにしたこと。

二つ目は、シミュレーションによって、玩具による気道閉塞のメカニズムを明らかにすると共に、気道を閉塞させる玩具の大きさや形状等についての知見を得たこと。

最後に、これらの結果を踏まえ、啓発用の資料を作成したこと。これらが幅広く行き渡ることが事故の再発防止に有効である。

#### (2) 申出事案

##### 《個別事案について》

- 申出のあった個別事案については、選定・不選定決定済みの229件を除く39件と10月に申出のあった事案1件の計40件について検討し、次のとおり決定した。

- ・調査を行う 1件
- ・引き続き情報収集を行う 36件
- ・調査等を行わない 3件

#### (3) その他

- 次回は平成29年12月に開催する予定。

### 3. 閉会

文責：消費者庁事故調査室